

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	丸合上後藤店	階数	地上1F
建設地	鳥取県米子市東福原二丁目19番48	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、法22条区域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,745時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2021年1月26日
敷地面積	6,165 m ²	作成者	羽子田 靖彦
建築面積	2,841 m ²	確認日	2021年1月26日
延床面積	2,710 m ²	確認者	羽子田 靖彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.6**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.7**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.1**

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 2.9**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 2.8**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.8**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.1**

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外観の色彩等をアースカラーを採用し、基本的な室外機等の機械設備を屋上に設置、その設備機器を外観から見えないように計画することで周辺環境への配慮を図りつつ、LED照明等の省エネ性能向上を図る設備機器の採用により、LCCO ₂ の排出率を抑える計画とした。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	階高をゆとりのある高さとし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	敷地境界沿いの緑化により、周辺環境への圧迫感等を考慮した計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
効率的な設備機器(LED照明等)の選定により省エネを図る計画とした。	躯体と仕上げ材が容易に分別可能な計画とした。	建物の省エネ性能を高めて、ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えた計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される